

3. フェーズⅢ

3.1 実施目的

- ① 現行N A C C Sから移行したデータ（以下「移行データ」という）を使用して現行関係行政機関手続きと同様の業務を第6次N A C C Sで行い、第6次N A C C S稼働後の運用実態に近い状況での業務運用訓練を行う（移行データに係る手続きが終了した後も、現行関係行政機関手続きと同様の業務を第6次N A C C Sにおいて並行入力する。）。
- ※ 現行関係行政機関手続きと同様の業務を第6次N A C C Sにおいて並行入力するデータを以下「生データ」という。
- ② 移行データの後続処理が正常に行えることの確認を行う。
 - ③ 利用者が入力したデータをもとに日報・週報・月報等の管理資料情報を作成し、取り出しサーバに格納する。利用者は管理資料情報取出サーバに格納した管理資料情報を取り出し、入力したデータとの対照確認を行う。
 - ④ 保守日運用の確認を行う。
 - ⑤ メインセンターとバックアップセンターの切替切戻しの運用確認（第2回目）を行う。
 - ⑥ メインセンターのシステム故障を発生させ、故障復旧機能の確認を行う。

3.2 対象者と対象業務

(1) 対象者

民間利用者、関係行政機関（税関、関係省庁（入国管理局、経済産業省を除く））

※ 関係省庁：厚生労働省（食品）、動物検疫所、植物防疫所、検疫所、厚生局、港湾管理者、港長、港内交通管制室、海上交通センター、保安部署、海事局、地方運輸局
港湾管理者の参加の詳細については、後日、新N A C C S掲示板に掲載いたします。

(2) 対象業務

① オンライン業務

次の業務を**除く**全業務

- ・利用者設定業務（「利用者情報登録（U R Y、U R Y O W）」業務は実施可能）
- ・ディレード業務（「当初輸入申告情報呼出し（蔵出輸入申告等）（D L I O 1）」業務等）
- ・貿易管理サブシステム業務
- ・M P N関連業務
- ・歳入金電子納付システム業務（R E P S関連業務）

② Web N A C C S（通関、貨物、包括保険、入出港、動物・植物検疫、港湾統計）業務

③ 管理資料情報

作成する

※ フェーズごとの対象業務については、別紙1「総合運転試験業務可否一覧」、管理資料情報については、別紙2「管理資料情報一覧」を参照してください。

3.3 実施日程

平成 29 年 8 月 28 日 (月) から 9 月 11 日 (月) までの 15 日間 ※ 土日含む

実施日	8月28日(月)	8月29日(火)	8月30日(水)	8月31日(木)
実施時間	10:00~24:00	00:00 ~ 24:00		
システム日付・時刻	実施日・実施時刻に同じ			
関係行政機関開庁時間	実運用と同様(官署ごとの設定による)			
保守・切替切戻し運用・故障試験	行わない			
関係行政機関対応	対応する			

実施日	9月1日(金)	9月2日(土)	9月3日(日)	9月4日(月)
実施時間	00:00 ~ 24:00			
システム日付・時刻	実施日・実施時刻に同じ			
関係行政機関開庁時間	実運用と同様(官署ごとの設定による)			
保守・切替切戻し運用・故障試験	行わない		保守日運用 02:30~05:00 実施不可	行わない
関係行政機関対応	対応する			

実施日	9月5日(火)	9月6日(水)	9月7日(木)	9月8日(金)
実施時間	00:00 ~ 24:00			
システム日付・時刻	実施日・実施時刻に同じ			
関係行政機関開庁時間	実運用と同様(官署ごとの設定による)			
保守・切替切戻し運用・故障試験	行わない	切替運用 (メイン→バック) 12:00~12:40 実施不可	切替後運用 (バックアップセンター)	
関係行政機関対応	対応する			

実施日	9月9日(土)	9月10日(日)	9月11日(月)
実施時間	00:00 ~ 24:00		00:00 ~ 19:00
システム日付・時刻	実施日・実施時刻に同じ		
関係行政機関開庁時間	実運用と同様(官署ごとの設定による)		
保守・切替切戻し運用・故障試験	切替後運用 (バックアップセンター)	切戻し運用 (バック→メイン) 03:00~04:00 実施不可	故障復旧運用 (オンライン再起動) 10:30~11:10 実施不可
関係行政機関対応	対応する		

凡例) 網掛けはオンライン全停止を伴う試験。

3.4 現行NACCSからの移行データの後続確認

第6次NACCS稼働後の運用実態に近い状況での業務運用確認を行うため、本フェーズ開始前に8月26日（土）～27日（日）の保守日オンライン停止時点の現行NACCSに登録されているデータを第6次NACCSにデータ移行します。移行データの後続処理が正常に動作することの確認を行ってください（ただし、配信済み管理資料情報は移行されません。）。

移行データの後続処理の動作確認は、移行データについて現行NACCSで行った手続きを第6次NACCSに並行入力して、現行NACCSと第6次NACCSの処理を比較することによって行います。

なお、移行データのうち現行NACCSにおいて海上システムで取り扱っていた航空貨物データのシステム処理については、別紙5「移行データの取り扱い」を参照してください。

3.5 生データによる運用確認

3.5.1 生データによる運用確認

現行関係行政機関手続きと同様の業務を第6次NACCSにおいて並行入力してください。

3.5.2 本フェーズ中に現行システムとの並行入力ができない機能

（1）担保

総合運転試験中、担保の積み増しはタイムリーに行われないため、現行から移行した担保については金額不足により使えなくなることがあります。

（2）払出番号

現行NACCSと第6次NACCSで払い出す番号が異なるため、申告番号や輸出管理番号等は現行NACCSと第6次NACCSに異なる番号を入力することになります。

3.6 管理資料情報の検証

各日の業務実施内容に基づき管理資料情報を作成するため、管理資料情報を取り出し、管理資料情報の内容と入力データとの対照確認を行ってください。作成周期が、本フェーズの日程内にある管理資料情報（日報、週報、月報）が作成されます。作成対象管理資料については、別紙2「管理資料一覧」を参照してください。

3.7 関係行政機関対応

本フェーズ期間中の税関における審査終了等は、主に平日11時～12時まで、14時～15時まで対応します。税関以外の関係省庁における審査終了等については、本フェーズ期間中に個別に各関係省庁にご相談ください。

3.8 保守日運用試験

オンライン停止を伴う保守運用を想定し、9月3日（日）02:30～05:00にシステム停止を伴う

保守日作業の確認を行います。オンライン業務を実施中に保守日運用が行われた場合、受け付けた全ての処理要求を処理した後、オンラインは終了します。保守日運用の開始以降の業務受付は行われません。

なお、N A C C Sセンターから利用者に対して、保守日試験実施日の前営業日（9月1日（金））の午後に同報電文にて保守日試験の旨を連絡します（新N A C C S掲示板にもお知らせを掲載します）。

3.9 切替・切戻し運用確認（第2回目）

9月6日（水）12：00に第6次N A C C Sのメインセンターが使用できなくなったと想定し、メインセンターからバックアップセンターへの切替及び切戻しの運用確認を行います。

（1） オンライン環境

9月6日（水）	9月7日（木）	9月8日（金）	9月9日（土）	9月10日（日）
メインセンター ↓ バックアップセンター	終日バックアップセンターでの運用			バックアップセンター ↓ メインセンター
12：00 メインセンター使用不可 メインセンターオンライン停止 メインセンターからバックアップセンターへの切替開始 …①				03：00 バックアップセンターオンライン停止 バックアップセンターからメインセンターへの切戻し開始 …③
12：30頃 メインセンターからバックアップセンターへの切替完了 バックアップセンターオンライン開始…②				04：00 バックアップセンターからメインセンターへの切戻し完了 メインセンターオンライン開始…④
※メインセンター停止から、バックアップセンターのオンライン開始までが停止時間になる				※バックアップセンターのオンライン停止から、メインセンターのオンライン開始までが停止時間になる

なお、N A C C Sセンターから利用者に対して、第2回目切替運用確認前日、及び当日の午前中に同報電文にて切替・切戻し運用確認実施の旨を連絡します（新N A C C S掲示板にもお知らせを掲載します。）。

また、接続先をバックアップセンターからメインセンターに切戻す日の前営業日（9月8日（金））にも、同報電文にて9月10日（日）03：00から04：00に接続先を切戻す旨を連絡します（新N A C C S掲示板にもお知らせを掲載します。）。

① メインセンターからバックアップセンターへの切替開始

9月6日（水）12：00 にメインセンターが使用できなくなったと想定し、メインセンターのオンラインを停止します。メインセンターからバックアップセンターへの切替作業をNACCセンターにて行います。

パッケージソフト利用者及び、DNSを利用して第6次NACCに接続している自社システム利用者は、接続先の切替作業は必要ありません。

DNSを利用できず接続先の切替作業が必要な自社システム利用者には、NACCセンターからメールにて接続先をメインセンターからバックアップセンターに切り替えるよう連絡します。

② メインセンターからバックアップセンターへ接続先切替完了

バックアップセンターへの切替が完了次第、オンラインを開始します。利用者はバックアップセンターでの運用を開始してください。

DNSを利用できず接続先の切替作業が必要な自社システム利用者は、NACCセンターからのメールを受信後、接続先をメインセンターからバックアップセンターに変更し、バックアップセンターでの運用を開始してください。

バックアップセンターへの切り替えが完了次第、新NACC掲示板のお知らせを掲載します。

③ バックアップセンターオンライン停止、バックアップセンターからメインセンターへ切戻し開始

9月10日（日）03：00 にバックアップセンターのオンラインを停止し、メインセンターへの切戻し作業を開始します。オンラインの停止時間は60分間の見込みです（保守日時間帯を想定）。

パッケージソフト利用者及び、DNSで第6次NACCに接続している自社システム利用者は、接続先の切替作業は必要ありません。

DNSを利用できず接続先の切替作業が必要な自社システム利用者には、NACCセンターから事前（9月8日（金））にメールにて接続先をバックアップセンターからメインセンターに切り替える旨を連絡します。利用者は9月10日（日）03：00以降の任意の時間に接続先をバックアップセンターからメインセンターに変更してください。

④ バックアップセンターからメインセンターへの接続先切戻し完了、メインセンターでのオンライン開始

全ての切戻し作業が完了した後、9月10日（日）04：00 にメインセンターでオンラインを再開します。

メインセンターへの切戻しが完了次第、新NACC掲示板のお知らせを掲載します。

3.10 故障復旧運用の確認（オンライン再起動）

第6次NACCのシステム再起動が必要な障害が発生したと想定し、9月11日（月）10：30 に故障復旧運用（全オンライン再起動）の確認を行います。本確認では、オンラインの再起動を行い、40分程度でオンラインが再開されます。

オンライン業務を実施中にシステム閉塞が行われた場合は、通常保守日と同様に処理要求電文を受け付けない場合もありますが、再起動後には、業務の再送信や後続業務の実施により業務継続性が損なわれることはありません。

なお、NACCセンターから利用者に対して、故障復旧運用試験実施日の前営業日（9月8日（金））の午後に同報電文にて故障復旧運用試験実施の旨を連絡します（新NACC掲示板にもお知らせを掲載します。）。

3.11 本フェーズ中のNACCSセンターサーバでのデータ保存について

本フェーズ中は、現行NACCSからのデータ移行後、最終日までデータが継続されます。

なお、本フェーズ中に入力したデータのうち、オンライン保存期間を過ぎたデータは、削除されます。

3.12 NACCSセンターサーバのシステム環境

(1) 為替等換算レート

本フェーズ中に適用する為替等換算レートは、試験当日に適用する為替等換算レートが設定されます。毎週火曜日には、翌週レートも使用可能となります。

(2) 適用税番等

適用税番等は、試験当日に設定される税番、税率等が設定されます。

(3) 関税等振替口座

本フェーズ中は、以下のダミーのリアルタイム口座を使用可能とします。納付対応日は8月29日(火)～8月31日(木)の3日間のみです。

なお、納付については各日00:00～14:00に実施された申告分を対象とし、各日17:00までに疑似的に納付する税関業務処理を行います。処理は1日1回となるため即時性はありません。

① 輸入申告（正常応答）用

口座番号：99990000000001

口座名義人：P005A5550000

② 輸入申告（エラー：口座使用不可通知受信）用

口座番号：88880000000001

口座名義人：P005A5550000

現行NACCSに登録されているリアルタイム口座は総合運転試験では利用できません。当該実口座を使用した場合は、実口座の情報は登録されていないため、事項登録時にエラーとなります。

(4) 据置担保等

① 実担保

現行NACCSにおける8月26日(土)の移行処理により移行された担保が使用可能です。

なお、担保残高は8月26日(土)時点の残高となります。

② ダミー担保

架空の輸入者のダミー据置担保（一括）（金額：9,999,999,999,999円）を設定します。

なお、担保登録番号は「1AP000001」、輸入者コード「P005A5550000」です。

提供原因は、HEN/KEN/BPS/17M/TEN/19Gです。

③ 担保残高

本フェーズ中は、8月28日(月)に初期設定された後は、最終日まで残高は回復されません。

(5) 輸出入者情報

8月14日(月)時点の現行NACCSにおける輸出入者情報(法人番号との紐づけ情報も付加)に加え、ダミーの輸出入者「P005A5550000(法人番号:86345678901230000)」を特例輸入者、特定輸出者として登録します。

(6) 審査区分

本フェーズ中は本番と同様の審査区分を設定します。

(7) 利用者ID、パスワード

① フェーズⅠ又はⅡから総合運転試験に参加している利用者

利用者ID及びパスワードは、前フェーズの内容を継続して利用可能です。

② フェーズⅢから総合運転試験に参加する場合(自社システム利用者)

利用者ID及びパスワードは、NACCSセンターから利用者へ送付する本番用のものを使用してください。

③ フェーズⅢから総合運転試験に参加する場合(自社システム利用者以外)

利用者ID及びパスワードは、4月16日02:30時点の現行NACCSの情報を設定します。ただし、パスワードについては、第6次NACCSにおいては仮パスワードとして設定します(4月16日以降に利用開始した利用者IDについては、利用開始時点のパスワードが仮パスワードとなります。)

第6次NACCSから参加する利用者については、NACCSセンターから利用者へ配布する本番用のものを使用してください。

(7) 船舶基本情報

8月26日(土)時点の現行NACCSの情報を設定します。

(8) 船会社と船舶代理店の受委託関係情報

8月26日(土)時点の現行NACCSの情報を設定します。

(9) 包括保税運送

8月26日(土)時点の現行NACCSの情報を設定します。

(10) 機用品品名

8月26日(土)時点の現行NACCSの情報を設定します。

(11) 混載仕向地域

8月26日(土)時点の現行NACCSの情報を設定します。

(12) フライト

8月26日(土)時点の現行NACCSの情報を設定します。

(13) 機用品受託

8月14日(月)時点の現行NACCSの情報を設定します。

(14) 衛生証明書(輸入食品、動物検疫)

8月26日(土)時点の現行NACCSの情報を設定します。

3.13 その他

- ① 総合運転試験版のパッケージソフトではメニューバーが黄色（フェーズ途中でのバージョンアップ後は緑色）になっています。また、画面下部ステータスバーに「総合運転試験環境」の表示があります。
- ② GW配下等のパッケージソフトのバージョンアップ機能が利用できない利用者については、別途新NACCS掲示板パッケージソフトページよりバージョンアップ資材をダウンロードの上、バージョンアップを行ってください。
- ③ 貿易管理サブシステムのみ利用する民間利用者については、貿易管理サブシステムのテンプレート（6次NACCS対応版）のアップデートを行ってください。また、フェーズⅠ、Ⅱに参加していない利用者は本フェーズでログインを行い、「利用者情報登録（URY）」業務により仮パスワードを本番用パスワードに変更を行った後、「端末開通確認（TCC）」業務を実施してください。